

## 1. 略歴

- 1991年3月 東京大学文学部第二類（史学）美術史学専修課程卒業
- 1991年4月 東京大学大学院人文科学研究科美術史学専攻修士課程入学
- 1994年3月 同 修了
- 1994年4月 東京大学大学院人文社会系研究科美術史学専攻博士課程進学
- 1994年10月 ローマ第2大学トール・ヴェルガータ文学部単科生（イタリア政府給費留学生、～1995年3月）
- 1995年4月 在アテネ イタリア国立考古学研究所大学院専門課程入学（イタリア政府給費生、～1998年3月）
- 1998年12月 同 修了、ディプロマ取得
- 2000年3月 東京大学大学院人文社会系研究科美術史学専攻博士課程単位取得満期退学
- 2001年4月 日本学術振興会特別研究員（PD）（～2004年3月）
- 2002年5月 博士（文学）取得（東京大学）
- 2005年9月 国立西洋美術館学芸課リサーチフェロー
- 2006年8月 東北大学大学院文学研究科助教授
- 2007年4月 同 准教授
- 2017年4月 同 教授
- 2018年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

古代ギリシア・ローマ美術史

### b 研究課題

- (1) 古代ギリシア・ローマにおける造像と信仰
- (2) 帝政前期のローマ美術の中央から周縁への伝播と地域性
- (3) 3D形状比較を用いた古代彫刻工房の実態の解明
- (4) 美術展覧会のVRアーカイブとVR美術鑑賞

### c 概要と自己評価

古代ギリシア・ローマ美術における神像や肖像の造像活動を、宗教的・社会的背景のなかで研究している。2018～19年度は特に肖像について、その宗教的・社会的側面を考察し、著書を執筆中であるが、書き上げるには至らなかった。また上記の(1)と(2)を連動させる形で、地中海世界における知の伝達に関する科研プロジェクトに参加し、ローマ帝政前期における皇帝肖像の伝播や地方工房の形成について、発表や論文執筆を行った。(3)に関しては、以前計測した古代彫刻のサンプルの問題点を明らかにするために、新たにウフィツィ美術館で大理石彫像を3D計測し、現在解析を進めている。またVR東京大学バーチャルリアリティ教育研究センターのプロジェクトメンバーとなり、情報理工学系研究科と朝日新聞社との共同プロジェクトとして、院生たちとともに「ムンク展」「コートールド展」のVR撮影を行い、今後の研究に利用可能なコンテンツを制作することができた。

研究成果が論文や著書の出版にまで至っていないものが多いので、今後公表に力を入れていく必要がある。

### d 主要業績

#### (1) 論文

- 芳賀京子、「古代ギリシア彫刻の地域流派」、『美術フォーラム21』、37、108-113頁、2018.5
- 芳賀京子、「ギリシア・ローマ美術における創造と複製—3D技術と古代彫刻—」、『文化交流研究』、2019.3
- Kyoko Sengoku-Haga, “Rinvenimenti scultorei dalla ‘Villa di Augusto’ (2004-2014),” *Amoenitas*, 8, pp. 95-103, 2019

#### (2) 学会発表

- 国内、芳賀京子、「古代ギリシア・ローマ美術における〈古典〉」、シンポジウム「西洋美術史における〈古典〉と〈古典主義〉」、名古屋大学、2018.7.14
- 国際、Kyoko Sengoku-Haga, “Diffusion of Imperial Portraits in the Roman Empire,” Fourth Euro-Japanese Colloquium on the Ancient Mediterranean World, 名古屋大学、2018.9.5
- 国内、芳賀京子、「VR技術と美術鑑賞・美術教育・美術研究」、東京大学が挑戦するVRの未来、東京大学、2018.11.1

国際、Kyoko Sengoku-Haga, “Before Aphrodisias: Sculptors in Asia Minor in the Late Hellenistic Period,” Aphrodisias Workshop:

War and Peace in Roman Aphrodisias, 50 BC - AD 250、関西学院 東京丸の内キャンパス、2019.6.5

国内、芳賀京子、「VR と美術館・VR で美術館」、第24回日本バーチャルリアリティ学会、東京大学、2019.9.13

国内、芳賀京子、「古代ギリシア・ローマ美術——神々と人の姿」、日独文化研究所 第29回公開シンポジウム「文明と芸術/美術 古代ギリシア・ローマ世界とイスラーム世界」、京都大学、2019.10.20

国内、芳賀京子、「火山の噴火と古代美術」、イタリア学会 第67回大会 シンポジウム「火山の記憶——ナポリと鹿児島」、鹿児島大学、2019.10.26

国内、芳賀京子、「古代ギリシア神域の記述と信仰の記憶」、東大人文・熊野フォーラム「聖地の記述/記憶——熊野を中心に」、東京大学、2020.1.12

(3) 啓蒙

芳賀京子、「VR 技術が明らかにする古代ギリシア・ローマ彫刻のリアル」、『淡青』、28、23 頁、2019.3

(4) 予稿・会議録

国内会議、芳賀京子、「人文学の最前線」、シンポジウム「人文学の最前線」、東京大学、2018.10.20

『人文学の最前線』、49-56, 62-63 頁、2019.1

(5) 会議主催(チェア他)

国内、「第71回 美術史学会全国大会」、チェア、シンポジウム「聖地巡礼」、東北大学、2018.5.18~2018.5.20

(6) 研究テーマ

文部科学省科学研究費補助金、基盤研究 (C)、芳賀京子、研究代表者、「古代ギリシアにおける英雄崇拜と造像に関する研究」、2016~2019

文部科学省科学研究費補助金、基盤研究 (A)、芳賀京子、分担者 (代表者は東大外)、「古代地中海世界における知の動態と文化的記憶」、2018~

共同研究、芳賀京子、研究代表者、「展覧会 VR アーカイブの構築と美術・歴史教育への利活用」、2019~

(7) 授業開発・教育プログラム

「MOOC 「男と女の文化史」(東北大学)」、高橋章則、嶋崎啓、芳賀京子、横溝博、2018

### 3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

セミナー、知求アカデミー講座、「エトルリア美術の旅」、2018.11

特別講演、立教大学、「ギリシア・ローマ彫刻の研究—過去と未来—」、2019.1

非常勤講師、東北大学、「ジェンダーと人間社会」、2019.6.13、2019.11.20

非常勤講師、東北大学美学・西洋美術史、「古代ギリシアのヘレニズム美術」、2019.7

(2) 学会

国内、美術史学会、常任委員、2014.5~2018.5

国内、西洋古典学会、委員、2019.6~